

図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	中高生を図書館に呼び込むための工夫はあるか。	練馬図書館には中高生向けの閲覧スペースがありませんでしたが、12月に4席設けました。 また、青少年向けの企画展示を実施しています。今後、青少年向けの講座等を実施していきます。	◎
2	古い資料が除籍されている。できるだけ保存して欲しい。	区内図書館の「最後の一冊」は必ず保存していますが、所蔵スペースの確保のため汚破損の酷い状態のものは除籍する場合もあります。	□
3	長期末利用のために利用カードが停止になっている人が年齢を聞かれた。また、イベント申込みの際に参加者全員分の電話番号を聞かれた。そこまでに個人情報収集は必要ないのではないか。	年齢は他の同姓同名の方の登録と区別するため、また二重登録を防止するために生年のみお聞きしています。イベント参加者の電話番号は、中止時等、緊急連絡のためにお聞きしています。終了後は参加者の情報は速やかに破棄しています。	◎
4	練馬図書館は生涯学習センターと併設なので、イベントは図書館に特化した企画を行うべきなのではないか。イベントを行えば貸出が増えるのか。	図書館のイベントは企画時に生涯学習センターと打合せをしています。イベント内容に関連した企画展を実施し、展示資料も借りられており貸出しを促進しています。	□
5	最近の利用者で気になることはあるか。	①高齢者から、子供の声や新聞をめくる音等へのご意見などがあります。 ②貸出した本を汚して返却する例もあります。 ③本に書き込みをするなどの例もあります。 ④借りた本を返したかどうかわからなくなる人もいます。 誰もが安心して読める読書環境の整備・対応が必要です。	□

6	中高生の読書離れが言われるが、図書館利用における比率はどうか。	中高生向けのイベントを企画していますが、中高生向け資料の所蔵が多くないことが、利用が増えない要因と思われます。また、具体的な利用の比率については、来館者数は把握していますが、中高生の利用の比率はわかりません。	<input type="checkbox"/>
7	利用者によるボランティアに図書館側が求めるものはどんなものがあるか。	利用者ボランティアについては、図書館サポーターとして、育成を検討しています。例えば、図書館の棚にある図書のチェックをして必要な修理をして頂くなどがあります。修理の講習会などでノウハウを身につけていただいで活動していただくと有り難いです。練馬図書館では布の絵本の修理講習会を実施して、今年度、布の絵本の団体を立ち上げています。	<input type="checkbox"/>

※練馬区立図書館全体に関する質問、意見等については、別項「図書館全体に関する意見、意見の概要」にまとめました。